

【 酪 農 】

1 開催期日 令和8年11月9日（月）～11月13日（金） 5日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
11月9日 (月)	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:30	最近の牛乳・乳製品をめぐる情勢と貿易交渉について 畜産局 牛乳乳製品課 乳業班 係長 大城 毅
	14:45 ～15:45	家畜改良センター岩手牧場における農場 HACCP 認証と JGAP 認証 独立行政法人家畜改良センター岩手牧場 業務課 業務専門役 小泉 和生
	15:55 ～17:25	乳用牛のベストパフォーマンス実現のために 同 上
11月10日 (火)	8:45 ～10:15	自動搾乳システムでの乳牛行動に適した飼養管理及び施設計画 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 畜産試験場 肉牛研究部長 堂腰 顕
	10:30 ～11:30	アニマルウェルフェアの現状について 畜産局 畜産振興課 アニマルウェルフェア推進班 専門官 遠藤 聡子
	12:30 ～14:00	牛群検定データによる適切な農家指導について (特に繁殖成績・乳質・産乳量の向上のために) 一般社団法人家畜改良事業団 情報分析センター首席専門役 兼 家畜個体識別センター所長 相原 光夫
	14:15 ～17:15	課題討論 「牛群検定の普及率向上について」 独立行政法人家畜改良センター新冠牧場 業務課 課長補佐 大藪 武史 畜産局 畜産振興課 家畜改良推進班 課長補佐 松永 知美
11月11日 (水)	8:45 ～16:30	現地研修 ①全酪連那須青木 TMR センター(90 分) 渡辺 恵一 ※見学は2班に ②人見牧場 (60 分) 相馬 達夫 分かれて実施 ③菊地牧場 (60 分) 人見 信 引率者：独立行政法人家畜改良センター企画調整部 菊地 裕一 企画調整課 技術協力室長 藤澤 保 技術協力室 井川 貴絵
	8:45 ～10:15	酪農ヘルパー事業の状況について 一般社団法人 酪農ヘルパー全国協会 専務理事 桑原 芳彦
11月12日 (木)	10:30 ～12:00	自給飼料生産用機械の最新動向 農研機構 畜産研究部門 国産飼料研究領域 飼料生産体系化グループ 上級研究員 住田 憲俊
	13:00 ～14:30	乳牛における生産病予防対策 国立大学法人 岩手大学 獣医学部付属 産業動物臨床・疾病制御教育研究センター 特任准教授 松田 敬一
	14:45 ～16:15	我が国の乳用牛改良の現状と課題 北海道ホルスタイン農業協同組合 登録部 次長 後藤 裕作
	8:45 ～10:15	牛から学ぶ牛の管理
11月13日 (金)	10:25 ～11:55	きくち酪農コンサルティング株式会社 代表取締役 菊地 実
	11:55 ～12:10	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

※講師所属について「農研機構」と記載あるものは「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」の通称です

3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

T E L 0 2 4 8 - 2 5 - 7 0 6 0

F A X 0 2 4 8 - 2 5 - 6 7 5 5

4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体又は農協等生産者団体等の職員で、当該分野に配属されて原則 5 年以内の者、農業に従事する者

5 受講者数 40 名程度

6 受講者の留意事項

- (1) 受講者は、宿泊等については研修開始 10 日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

- (2) 研修施設への入所は、研修初日の 9 時 00 分～12 時 00 分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

- (3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

- (4) 受講生は、課題討論※（11 月 10 日（火）実施）に関して、グループ討論の際の発言用資料（A4 版タテ 1 枚程度）の作成等事前準備をしておくこと。

具体的には、受講者決定通知時に別途連絡する。

※課題討論について

（目的）設定課題について、現状や課題の整理及び多面的な対応策の検討を行い、課題解決に向けて論理構築等を訓練・学習することをねらいとして実施します。

（実施方法）受講生はグループに分かれ、事前提出資料等に基づいて各グループで討論し（グループ内討論において各自作成資料の発表の場合あり）、その後、全体で各グループの発表を行い、受講者及び助言者と意見交換を行います。

（その他）各受講生の事前提出資料及び各グループ発表資料は、受講者全員に配布します。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568（ダイヤルイン）